

2011年度

科目名	障害児指導法演習				
担当教員	小田 浩伸				
配当	教福3			コード	44054
開期	前期	講時	木曜日4限 木曜日5限	単位数	2
授業テーマ	障害のある子どもの実態把握、個別の支援計画の作成、保護者との連携、チームアプローチ等について実践的に学ぶ。				
目的と概要	発達障害(LD・ADHD・高機能自閉症等)、知的障害、肢体不自由等の子どもとの関わりや支援実習を通して、個別の指導・支援計画の立て方や指導・支援の方法を実践的に学ぶこと、及び、障害のある子どもの保護者の悩みや心情等を理解することが、この授業(演習)のねらいである。今後の特別支援教育の実践に役立つことを期待している。 ＊ 本科目は 木曜4限・5限の連続授業です。				
成績評価法	実践実習への参加態度(40%)、事例検討会の参加態度(20%)、実践実習の観察記録報告(20%)及び、個別の支援計画作成(20%)により総合的に評価する。				
テキスト	随時プリントを配布する。				
参考書	必要に応じて適宜紹介する。				
履修に当たっての注意・助言/準備学習	＊ 本科目は 木曜4限・5限の連続授業です。 ＊ 初回は担当する事例を決めるので、必ず出席すること。 ＊ 実践に携わるものとして、責任ある態度・行動をもって臨むようにしてください。				
講義計画					
1. 演習オリエンテーション （1）実践実習の意義 2. 指導・支援プログラムの概要 （1）肢体不自由及び知的障害の基礎理解 （2）肢体不自由の子どもへの動作指導の実際 （3）肢体不自由の子どもへの言語指導の実際 （4）知的障害（自閉症）の子どもとのコミュニケーションスキル指導の実際 （5）体不自由及び知的障害の子どもが興味を持つ教材・教具の作成実習 3. 指導・支援の実習内容 （1）肢体不自由及び知的障害の子ども「個別の支援計画」の作成 （2）肢体不自由及び知的障害の子どもの実態把握と課題設定 （3）肢体不自由及び知的障害の子ども姿勢・動作指導 （4）肢体不自由及び知的障害の子ども言語・コミュニケーション指導 （5）肢体不自由及び知的障害の子ども心身リラクゼーション指導 （6）肢体不自由及び知的障害の子ども教科の基礎学習 4. 事例研究（カンファレンス） （1）指導・支援実践の報告と討議 （2）指導プログラム及び個別の支援計画の作成・実践・評価の検証（妥当性） 5. 総括 （1）実践実習での学びのまとめ					